

今治市デジタル未来推進
プロジェクトチーム
活動報告 Vol.2



今治市未来デジタル課

2022年11月21日

デジタル未来推進プロジェクトチームの活動

デジタル未来推進プロジェクトチームでは、
今治市におけるICT・デジタル技術の活用の方向性を定める
「今治市デジタル未来戦略（仮称）」の策定に向けて、
「**ミライマバリ**」をキーワードに、継続して活動しています。

ミライマバリは、
i = 「アイ（私たち、市民）、愛（ハート）」を中心に
未来の今治を描くロゴマークです。



デジタル未来戦略（案） を策定しました

2022年9月

今治市のデジタル化の方針を定めるデジタル未来戦略の骨子となる「基本戦略フレーム」を策定し、今治市ホームページで公表して市民の意見を求めるパブリックコメントを実施しました。

- ①「コンソーシアム型形式」
- ②「アジャイル型・非施設依存形式」
- ③「活動過程の広報」（プロセスブランディング）

の手法を採用し、DXを市民連携のきっかけとします。

詳しくは今治市未来デジタル課のホームページをご覧ください。

<コンセプト>
人に寄り添う日本一アナログなDX



今治市デジタル未来戦略（案）に対する意見を募集します | 未来デジタル課 | 今治市 (city.imabari.ehime.jp)
<https://www.city.imabari.ehime.jp/mirai/public/>
※パブリックコメントは終了しました。結果をご覧ください。

地元事業者との協働

コンソーシアム形成ワークショップ

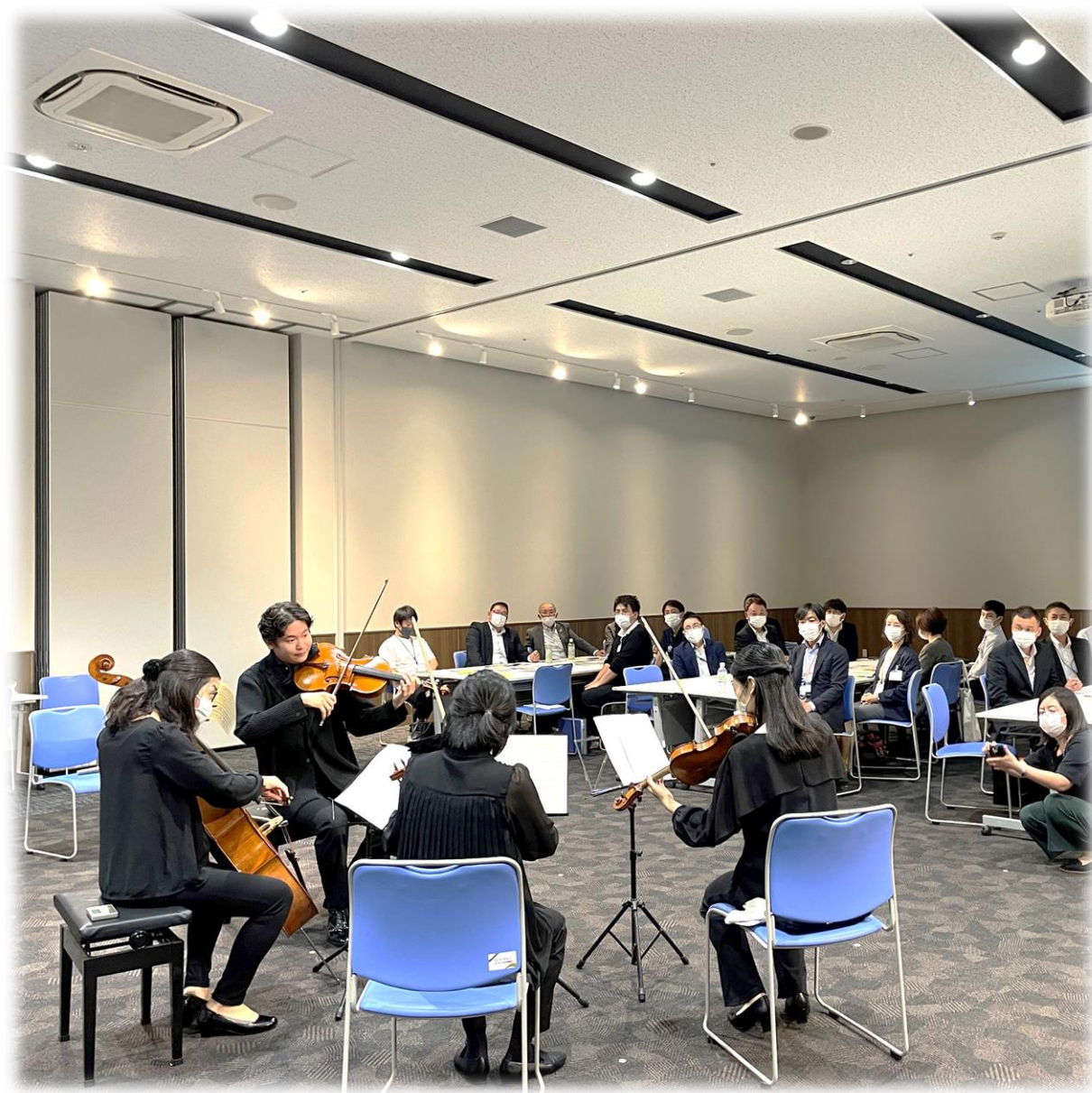
「デジタル未来戦略（案）」においては、当事者である市民や地元事業者と一緒に、今治市のデジタル化を推進していく方向性を定めています。

その第一歩として、地元事業者と一緒に、チームビルディングのワークショップを開催しました。

デジタルと音楽、行政と民間企業……

「不調和なものを組み合わせる」ことで、新しいものが生み出されることを体感しました。

【2022年10月17日 イオンモール今治新都市にて】



「今治市デジタル未来戦略」 コンソーシアム形成 ワークショップのご案内

日時：10月17日（月）14：00開始 17：30終了予定

会場：イオンモール今治新都市 イベントホール

主催：今治市

共催：ソフトバンク㈱

進行：株式会社博報堂 ブランド・イノベーションデザイン局

ディレクター 森 泰規 [Yasunori Mori, Director](#)

ワークショップの概要

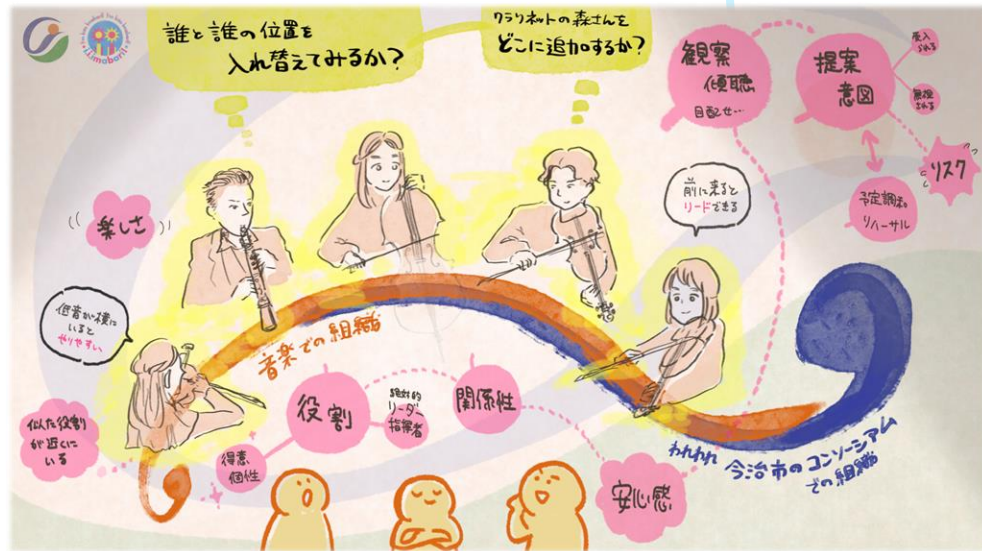
弦楽四重奏では、誰かが常にリーダー。でもそのリーダーシップは自然で、しかも高速に交代していくのでリーダーがいないように見えます。つまりヒエラルキーが自然にかつ有効な方向で生まれています。

実際の演奏を前に、その運営法を会社や組織に応用したらどうなるか、一人ひとりはどうあるべきか、何がどんな違いを生み出すのかを考えます。

このワークショップは、今治市のデジタル化の指針を定める「今治市デジタル未来戦略」策定の一環として、地元企業等によるコンソーシアム形成の基盤づくりを目的に実施します。



※ イベントは終了しました



コンソーシアム形成ワークショップの内容を、リアルタイムでイラストに起こすグラフィックレコーディングの手法で記録したものです。ワークショップの場の空気をお伝えします。



デジタル・DX 勉強会の開催

今治市のデジタル化を推進するには、現在世の中にどんな技術があって、どのように活用されているのか、行政職員自身が必要があります。

デジタル技術を扱う事業者を招いて職員を対象とする勉強会を開催し、最新技術や他自治体の活用事例などについて学びました。

今後も知識の更新に努めます。

【2022年10月18日 今治市役所にて】

勉強会テーマ：自動運転、モビリティ・
MaaS・スマート農業・人流データ分析



デジタル
未来推進P Tの
これから

今後の予定

2022年冬

基本戦略と、パブリックコメントや
さまざまな市民の声をもとに、
より具体的に目標や評価方法を定める
実施戦略（仮称）を策定します。

継続実施

- ・コンソーシアム形成に向けた取組
- ・デジタル・DX勉強会